

第5次五霞町総合計画

「人がきらめき だれもが安心・安全に暮らせるまち 五霞」

町では、平成22年度から平成31年度までの10年間にわたるまちづくりの基本的な指針となる第5次五霞町総合計画を策定しました。

「人がきらめきだれもが安心・安全に暮らせるまち五霞」を将来像に掲げ、実現のための6つの基本目標が立てられました。総合計画は、町ホームページ、または役場、中央公民館等でご覧になれます。

《計画策定の経過》

総合計画策定にあたり、町では町内3,000世帯に対する住民アンケート調査や中学生や事業所アンケート調査、さらには各種団体との意見交換を実施し、それらの意向を踏まえた素案を作成し、総合計画審議会において、審議を重ね答申をいただきました。

総合計画は、地方自治法に基づく、町議会の議決案件となることから、3月の定例議会において提案し、議決となりました。また、審議過程において、計

	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019
基本構想					第5次基本構想					
基本計画		前期基本計画				後期基本計画				
実施計画										

《計画の構成と期間》

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3段階で構成されます。それぞれの期間は、図のとおりになります。

《基本理念》

「だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり」

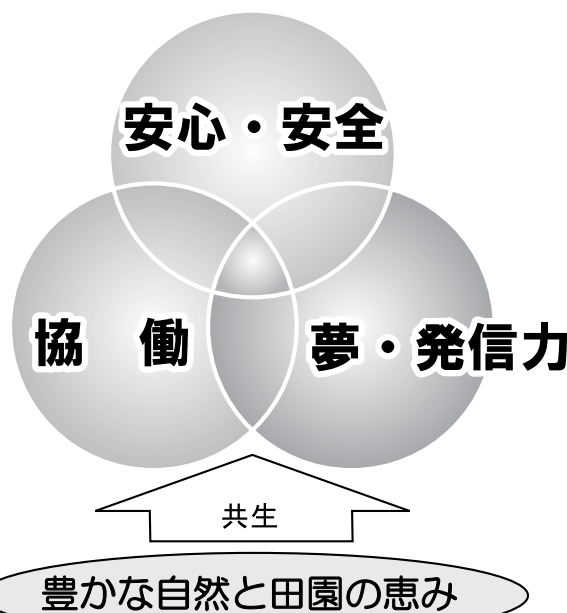
町の誇りや自慢でもある豊かな自然環境を守りながら、子どもから高齢者まで、だれもが安心・安全で快適な生活を営み、住み続けたいと思えるまちづくりを目指します。

「みんなで進める協働のまちづくり」

まちづくりの主役である町民一人ひとりを尊重するとともに、絆を大切に、地域住民・地域活動団体・事業所などと行政が役割分担のもと共に協力し合えるまちづくりを目指します。

「夢と発信力のあるまちづくり」

小さな町だからできるまちづくり、小さくても魅力と活力にあふれるまちづくり、町民だれもが将来に向けて夢を抱き、魅力と活力を創造し、発信するまちづくりを目指します。



《将来像》

「人がきらめきだれもが安心・安全に暮らせるまち五霞」



《将来指標》

町では将来の定住人口10,000人を目指しております。平成32年での人口を9,200人と想定します。



《重点プロジェクト》

今回の計画において、特に重視する施策として、次の3つを重点プロジェクトとして位置づけました。

1. 自然との共生を基本とした「暮らしの安心・安全プロジェクト」
 - 見守り・助け合い事業
 - 災害に強いまちづくり事業
 - 地域公共交通構築事業
2. 地域のふれあいを活かした「人・地域育成プロジェクト」
 - 人づくり事業
 - 地域づくり事業
3. 地理的条件を活かした「交流・発信プロジェクト」
 - 圏央道IC周辺地域整備事業
 - 道の駅を核とした交流拠点形成事業
 - 情報発信事業